DENON

CD レシーバー

RCD-M37

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。詳しくは、「保証と修理について」（☞31 ページ）をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

禁止

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意

指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

設定

再生

タイマー設定

その他の機能

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

	数量
① リモコン（RC-1097）	1
② 単 4 形乾電池	2
③ 電源コード（長さ：約 2m）	1
④ AM ループアンテナ	1
⑤ FM アンテナ	1
⑥ 取扱説明書（本書）	1
⑦ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内	1
⑧ 保証書	1

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

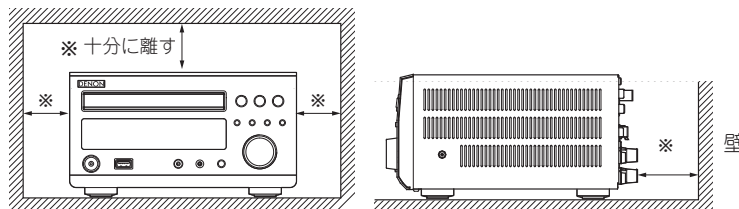
結露現象についてのご注意

本機内部の温度と周囲の温度に大きな差があると、製品内部の動作部に結露（露付き）が起き、正常に動作しなくなることがあります。
その場合は電源を入れたまま 1 ～ 2 時間放置してから、使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

設置の際のご注意

放熱のため、アンプユニットの天面、後面および両側面と壁や他の AV 機器などとは十分に離して設置してください。

お手入れについてのご注意

- ■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。
  ◎ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色したりすることがありますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

その他のご注意

本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によってはしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。本機をテレビから離して設置してください。

本機の特長

1. 音質重視のハイクオリティーアンプ
30W + 30W（JEITA 6 Ω）のハイクオリティーパワーアンプ回路を搭載。

2. トーンコントロールと SDB コントロール付き
お好みの音質が楽しめる BASS、TREBLE 独立のトーンコントロールと、小音量でも迫力のある低音再生を実現することのできるスーパー・ダイナミック・バス回路（SDB）を搭載。SDB とトーンコントロールをオフにして、フラットな特性にするソースダイレクトポジションを装備しています。

3. 高音質再生を楽しめる CD プレーヤー部
コンパクトなボディーに FM/AM チューナーとアンプに加え、CD-R/RW が再生可能な CD 部を一体化しました。

4. MP3/WMA の再生
MP3/WMA が記録されたディスクや USB メモリーの再生に対応しています。また、再生中の曲名やアーティスト名を本機のディスプレイに表示させることもできます。
表示できる文字については、「表示を切り替えるには」（☞20 ページ）をご覧ください。

5. 低待機電力
電源スタンバイ時の待機電力を約 0.3W に抑える環境に配慮した設計です。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ 音楽用 CD
本機で使用できる CD は、右のマークがついているものです。

❷ CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※ ファイナライズとは？
録音された CD-R/CD-RW を CD プレーヤーで再生できるようにする処理です。

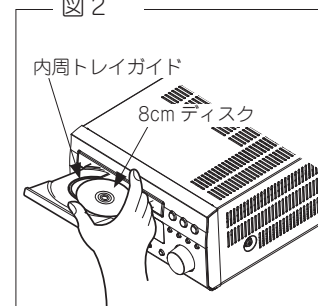
ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

図 1

図 2

- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- 再生できないディスクを入れた場合には、“00Tr　00 : 00”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合または、ディスクが入っていない場合にも、“00Tr　00 : 00”を表示します。

ご注意

電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

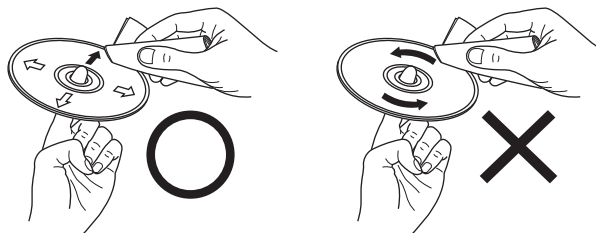
取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

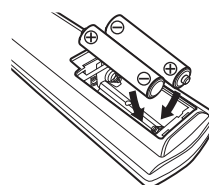
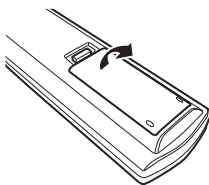
ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

乾電池の入れかた

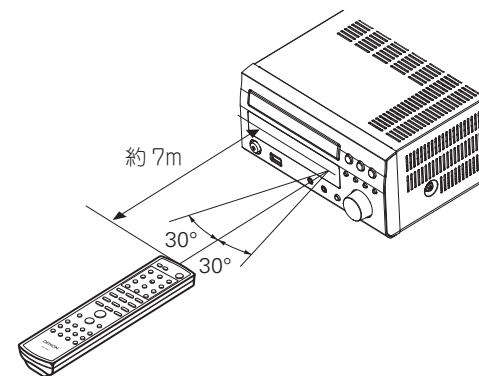
① 矢印のように押して引き上げる。

② 単 4 形乾電池（2 本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

③ 裏ぶたを元通りにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を 入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

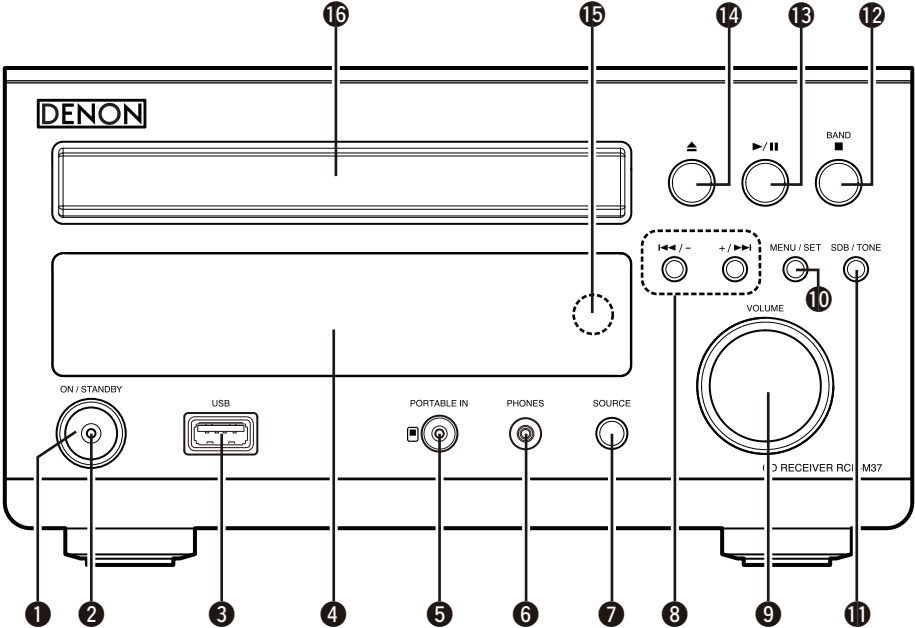
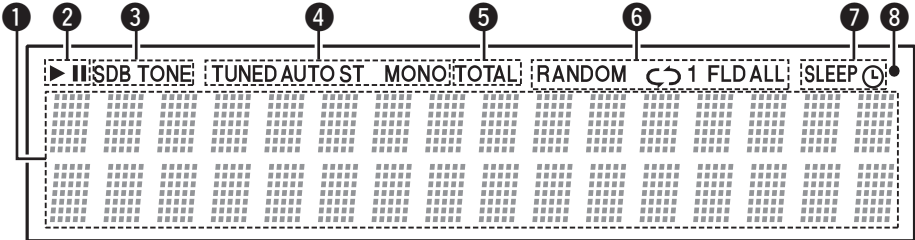
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。

ご注意

リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ 電源ボタン（ON/STANDBY）……………………（17）
❷ 電源表示………………………………………（17）
❸ USB 端子………………………………………（15）
❹ ディスプレイ
❺ ポータブル入力端子（PORTABLE IN）……………………（23）
❻ ヘッドホン端子（PHONES）………（17）
❼ 入力ソース切り替えボタン（SOURCE）……………………………（17）
❽ オートマチックサーチ / －，＋ボタン（I◀◀/ －，＋ /▶▶I）…………（18、21）
❾ 主音量調節つまみ（VOLUME）……（17）
❿ メニュー / セットボタン（MENU/SET）……………………（16、26）
⓫ スーパーダイナミックバス / トーンコントロールボタン（SDB/TONE）…………………………（17）
⓬ バンド / ストップボタン（BAND/■）……………………（18、21）
⓭ プレイ / ポーズボタン（▶/II）………（18）
⓮ ディスクトレイ開閉ボタン（▲）…（17）
⓯ リモコン受光部 ………………………………（7）
⓰ ディスクトレイ ………………………………（6）

ディスプレイ

❶ インフォメーションディスプレイ
いろいろな情報を表示します。

❷ ▶ ：再生中に点灯します。
II ：一時停止中に点灯します。

❸ SDB、TONE 表示……………………（17）

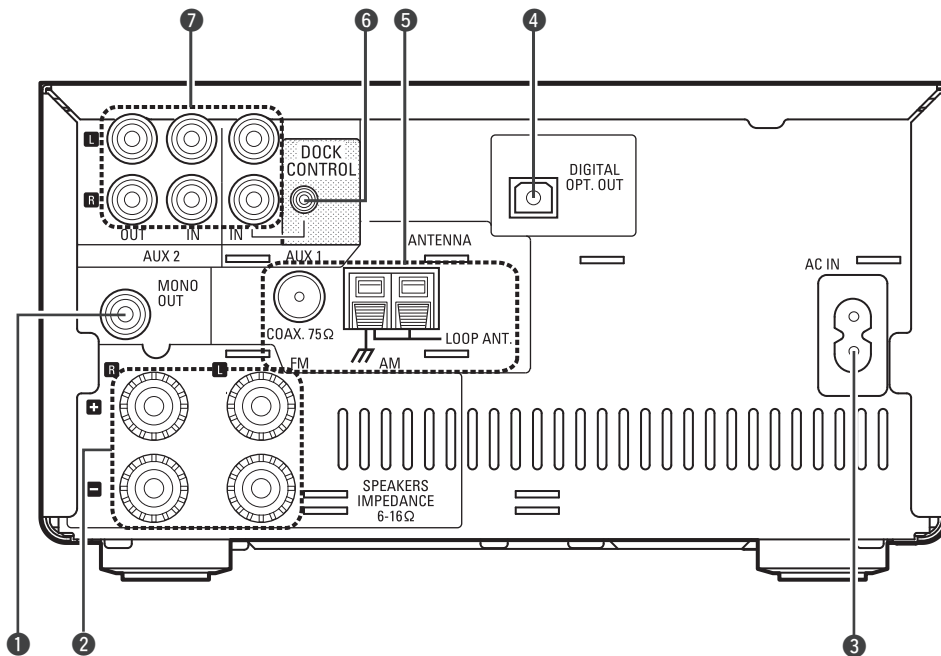
❹ 受信モード表示 ………………………（21）

❺ TOTAL 表示
CD の総曲数や総時間が表示されているときに点灯します。

❻ 再生モード表示 ……………………………（18）

❼ タイマー表示 ………………………………（27）

❽ リモコン信号を受信したときに点灯します。

リアパネル

❶ モノラル音声出力端子（MONO OUT）………………………(13)

❷ スピーカー端子（SPEAKERS）……(13)

❸ AC インレット（AC IN）…………… (15)

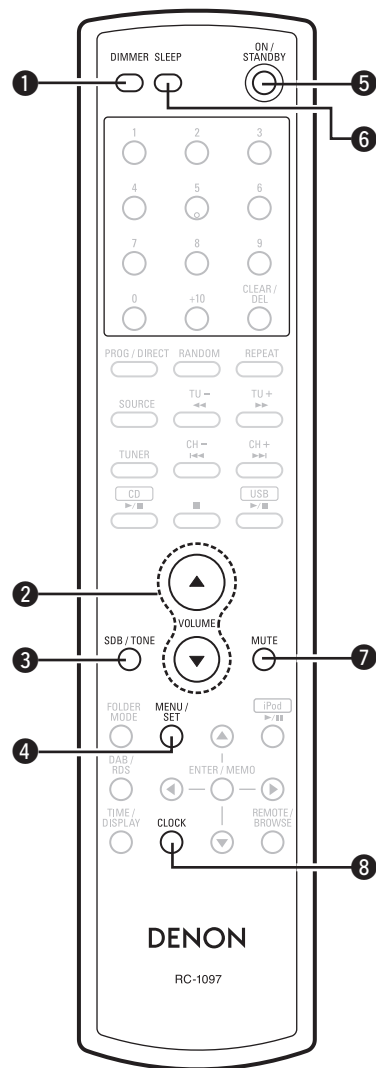
❹ デジタル音声出力端子（DIGITAL OPT. OUT）…………… (14)

❺ FM/AM アンテナ端子（ANTENNA）……………………………… (14)

❻ ドックコントロール端子（DOCK CONTROL）………………… (14)

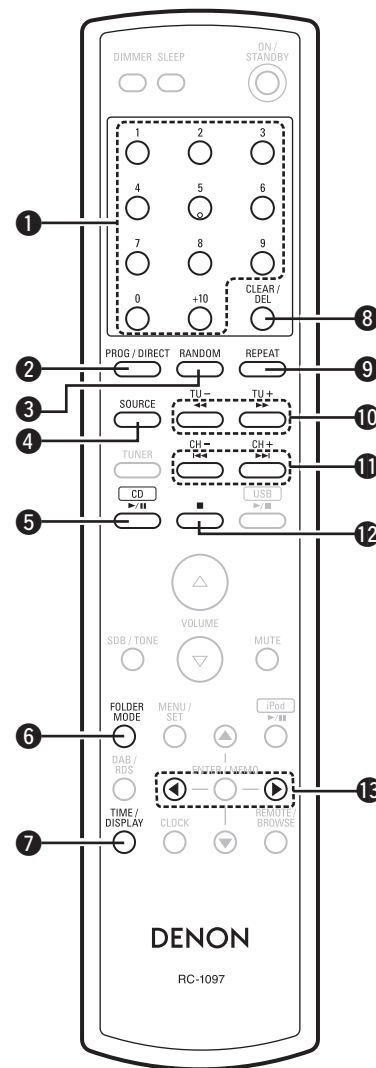
❼ アナログ音声入出力端子（AUX1/AUX2）…………………………(14)

リモコン

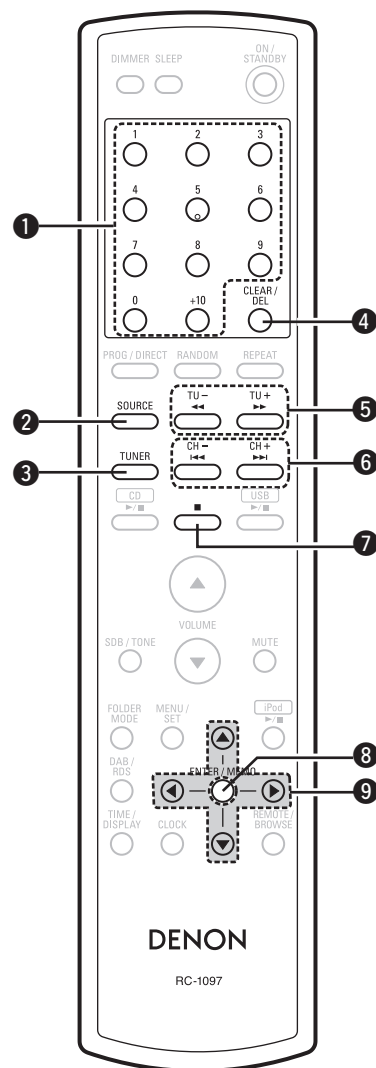
すべてのファンクション（CD、TUNER、iPod、USB）のときに操作できるボタン

❶ディマーボタン（DIMMER）…………(17)
❷主音量調節ボタン（VOLUME）……(17)
❸スーパーダイナミックバス / トーンコントロールボタン（SDB/TONE）……………………………(17)
❹メニュー / セットボタン（MENU/SET）………………………… (16)
❺電源ボタン（ON/STANDBY）……(16)
❻スリープボタン（SLEEP）……………(27)
❼ミュートボタン（MUTE）………………(17)
❽クロックボタン（CLOCK）…………(16)

本機では、DAB/RDS ボタンは使用できません。

ファンクションが“CD”のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶番号ボタン………………………………………(18)
❷プログラム / ダイレクトボタン（PROG/DIRECT）……………………(19)
❸ランダムボタン（RANDOM）…………(18)
❹入力ソース切り替えボタン（SOURCE）…………………………… (18)
❺CD プレイ / ポーズボタン（CD ▶/❚❚）………………………………(18)
❻フォルダモードボタン（FOLDER MODE）……………………(20)
❼タイム / ディスプレイボタン（TIME/DISPLAY）……………………(19)
❽クリアー / デリートボタン（CLEAR/DEL）………………………(19)
❾リピートボタン（REPEAT）…………(18)
❿マニュアルサーチボタン（◀◀, ▶▶）…………………………………(18)
⓫オートマチックサーチボタン（❙◀◀, ▶▶❙）………………………………(18)
⓬ストップボタン（■）……………………(18)
⓭カーソルボタン（◁ ▷）…………………(20)

ファンクションが“TUNER”のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶ 番号ボタン……………………………………(22)

❷ 入力ソース切り替えボタン（SOURCE）……………………(21)

❸ チューナーボタン（TUNER）…………(21)

❹ クリアー / デリートボタン（CLEAR/DEL）…………………………(22)

❺ チューニングボタン（TU －, TU ＋）…………………………(21)

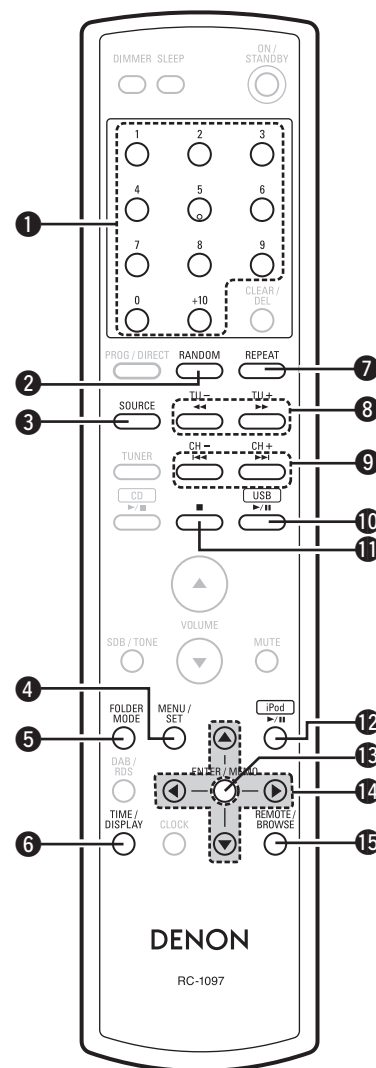
❻ チャンネルセレクトボタン（CH －, CH ＋）…………………………(21)

❼ ストップボタン（■）…………………(21)

❽ エンター / メモボタン（ENTER/MEMO）…………………………(21)

❾ カーソルボタン（△▽◁ ▷）…………(21)

ファンクションが“iPod、USB”のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶ 番号ボタン……………………………………(25)

❷ ランダムボタン（RANDOM）…………(25)

❸ 入力ソース切り替えボタン（SOURCE）…………………………(24)

❹ メニュー / セットボタン（MENU/SET）…………………………(23)

❺ フォルダモードボタン（FOLDER MODE）…………………(25)

❻ タイム / ディスプレイボタン（TIME/DISPLAY）……………………(23)

❼ リピートボタン（REPEAT）…………(25)

❽ マニュアルサーチボタン（◄◄, ►►）…………………………(25)

❾ オートマチックサーチボタン（I◄◄, ►►I）…………………………(25)

❿ USB プレイ / ポーズボタン（USB ►/❚❚）…………………………(24)

⓫ ストップボタン（■）…………………(25)

⓬ iPod プレイ / ポーズボタン（iPod ►/❚❚）…………………………(23)

⓭ エンター / メモボタン（ENTER/MEMO）…………………………(23)

⓮ カーソルボタン（△▽◁ ▷）…………(23)

⓯ リモート / ブラウズボタン（REMOTE/BROWSE）…………………(23)

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。
接続方法によっては、本機の設定が必要なものもあります。詳しくは、各接続項目の説明をご覧ください。

ご注意

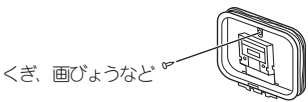
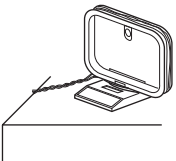
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルを一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因になります。

準備

接続に使用するケーブル

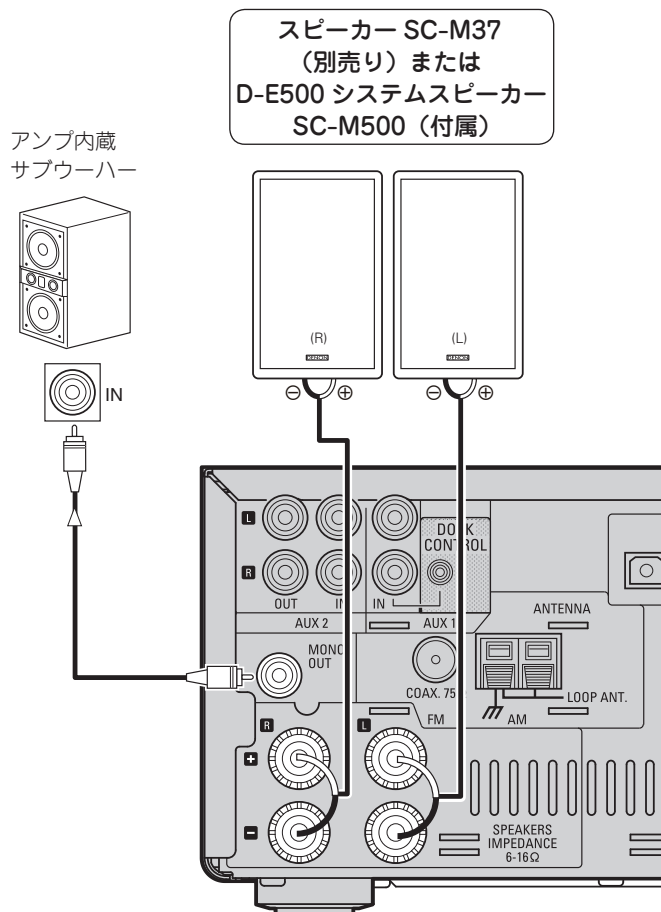
ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

AM ループアンテナの使いかた

❑ **壁掛け型で使うには**
組み立てずに壁に掛けてください。

❑ **置き型で使うには**
下記の手順で、組み立ててください。

AM ループアンテナを組み立てる

1 矢印の方向へ曲げる。

2 穴に差し込む。

スピーカーの接続

スピーカーケーブルを接続する

本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、＋（赤）、－（黒）をよく確認して、同じ極性を接続してください。

1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理（半田付け）をおこなう。

2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。

3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

4 スピーカー端子を右に回してしめる。

バナナプラグを使用する場合

スピーカー端子を強くしめてから、
バナナプラグを差し込む。

ご注意

- スピーカーは、インピーダンスが 6 ～ 16 Ωのものをお使いください。指定されたインピーダンス以外のスピーカーを使用した場合に、保護回路が動作することがあります（☞「保護回路について」）。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触すると、保護回路が動作します（☞「保護回路について」）。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

保護回路について

次のときに保護回路が動作します。

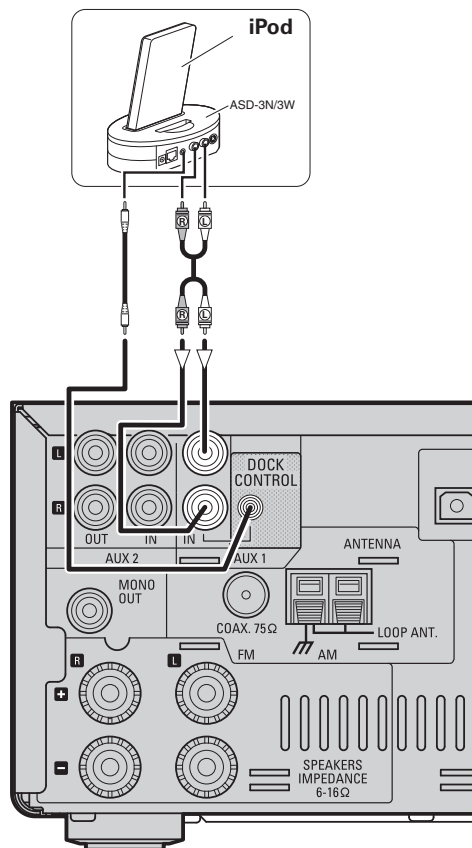
- スピーカーケーブルの芯線がリアパネルやねじに接触したり、スピーカーケーブルの＋、－側が接触しているとき
- 本機の周囲の温度が異常に高くなったとき
- 長時間大出力で使用して内部の温度が上昇したとき

保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が赤色に点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。また、本機の温度が極端に上がっている場合は、本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。その後、もう一度電源コードを入れ直してください。

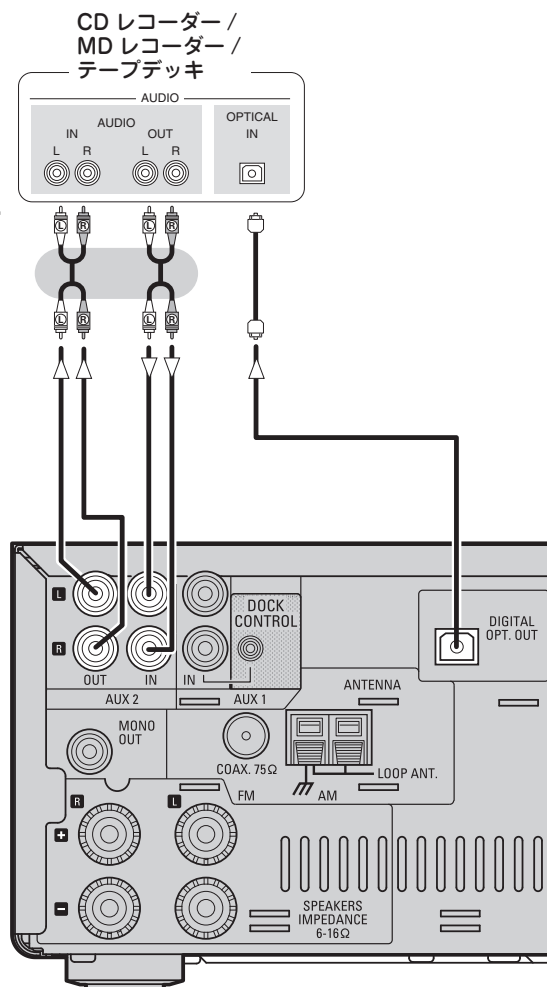
本機の周囲の通風や接続に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作する場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、当社の修理相談窓口にご連絡ください。

再生機器の接続

iPod 用コントロールドック

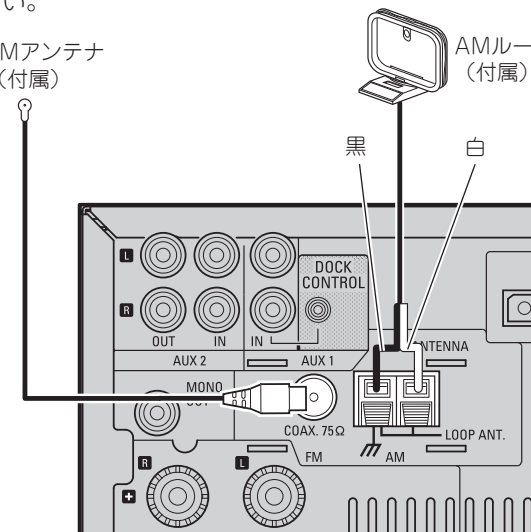
本機と iPod の接続には、DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-1R、ASD-3N または ASD-3W、別売り）をお使いください。

- iPod 用コントロールドックを使用するときは、iPod 用コントロールドック側の設定が必要です。詳しくは、iPod 用コントロールドックの取扱説明書をご覧ください。
- iPod を使用する場合は、「iPod® の再生」（☞22 ページ）を参照してください。

録音機器の接続

CD レコーダー /MD レコーダー / テープデッキ

その他の機器の接続

アンテナの接続

FM/AM

FM や AM の受信感度は、アンテナの設置場所や設置方向により変わります。最もよく受信できるところに設置してください。

❑ AM ループアンテナを接続するには

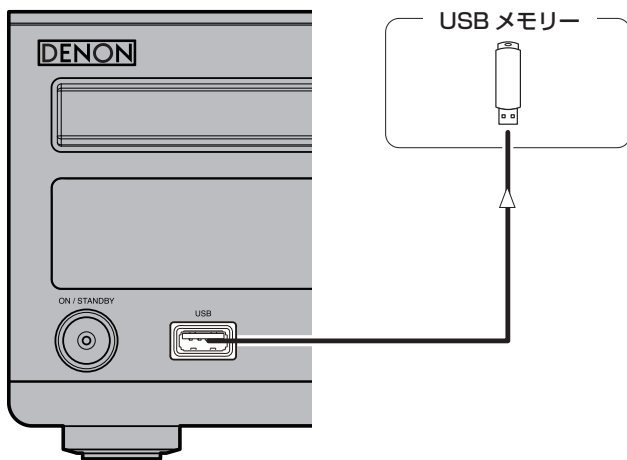
1 レバーを押す。

2 アンテナ線を挿入する。

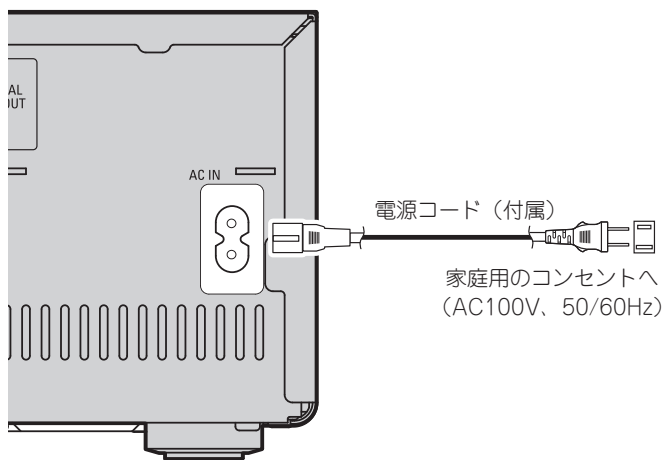
3 レバーを離し、アンテナ線を固定する。

ご注意

- AM ループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないかご確認ください。
- 2 つの FM アンテナを同時に接続しないでください。

USB メモリーの接続

ご注意

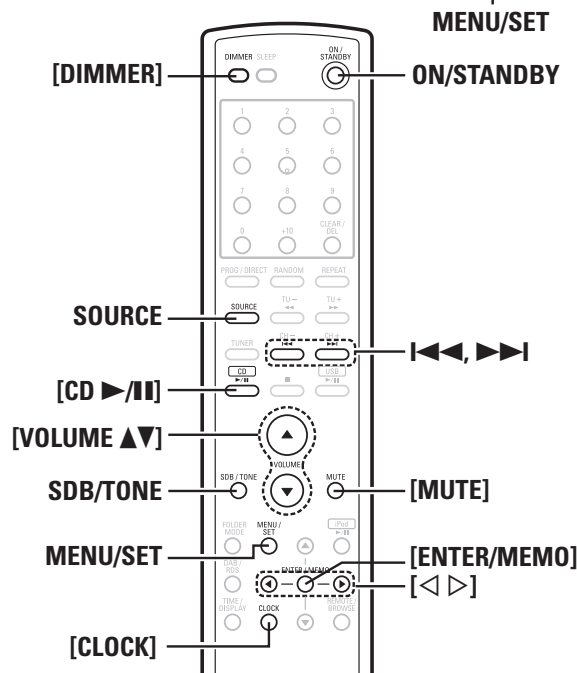
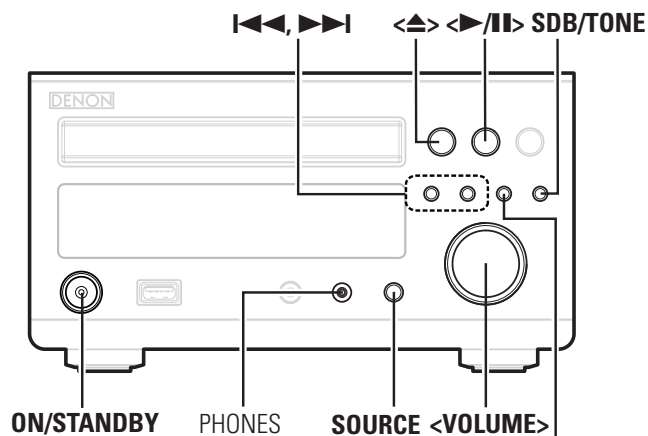
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーの詳細については、「再生できる USB メモリーのフォーマットについて」（☞24 ページ）をご覧ください。

電源コードの接続

ご注意

- 付属の電源コード以外は、使用しないでください。
- 本機の AC インレットへの電源コードの抜き差しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

接続が終わったら

電源を入れる（☞17 ページ）

設定

現在時刻の合わせかた（24 時間表示）

【例】現在時刻を午前10時15分に設定する

1 **ON/STANDBY ボタンを押して、電源をオンにする。**

2 **[CLOCK] ボタンを押す。**
現在時刻を表示します。

3 **MENU/SET ボタンを 1 秒以上押して、マニュアル時刻設定モードにする。**
“時”表示が点滅します。

TIME Adj 0:00

4 **I◀◀, ▶▶I または [◁ ▷] ボタンで、“時”を設定する。**

TIME Adj 10:00

5 **MENU/SET または [ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
“分”表示が点滅します。

TIME Adj 10:00

6 **I◀◀, ▶▶I または [◁ ▷] ボタンで、“分”を設定する。**

TIME Adj 10:15

7 **MENU/SET または [ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
現在時刻が確定し、通常の表示に戻ります。

❑ 電源がオンのときに現在時刻を確認するには

[CLOCK] ボタンを押す。
もう一度押すか、他の操作をおこなうと通常の表示に戻ります。

❑ 電源がスタンバイのときに現在時刻を確認するには

MENU/SET または **[CLOCK]** ボタンを押す。
もう一度押すと時計表示が消えます。

- 電源がスタンバイのときに時刻表示をおこなうと、その分の電力を消費します。低待機電力の状態にするには、時計表示を消してください。
- iPod ファンクションのときに、現在時刻を設定することはできません。

再生

準備

電源を入れる

ON/STANDBY ボタンを押す。

●電源が入ります。
もう一度押すと、スタンバイ状態になります。
●電源表示について
スタンバイ……………………………赤色
電源オン ………………………………緑色
タイマー設定時……………………オレンジ色

ご注意

●電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**ON/STANDBY** ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●必ず再生を止めてから電源を切ってください。

❑ 電源を完全に切るには

電源コードを壁のコンセントから抜く。

※電源コードをコンセントから抜くと、時刻設定が解除されますのでご注意ください。
※長期間電源コードをコンセントから抜いた状態でいると、各ファンクションで設定した設定内容が消えてしまうことがあります。

ディスクを入れる

停止中に <⏏> ボタンでディスクトレイを開く。

※ディスクの入れかた（☞6 ページ）

❑ ディスクトレイを閉じるには

もう一度 **<⏏>** ボタンを押す。

※**<▶/❚❚>**、 **[CD ▶/❚❚]** または **SOURCE** ボタンを押しても閉じます。

ご注意

ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

再生中にできる操作

音量を調節する

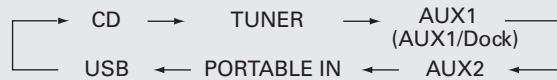
<VOLUME> つまみを回すか、[VOLUME ▲▼] ボタンを押す。

音量を表示します。

【可変できる範囲】 VOLUME 00 ~ 45, VOLUME MAX

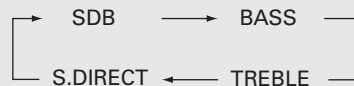
入力ソースを切り替える

SOURCE ボタンで入力ソースを選ぶ。

CD → TUNER → AUX1 (AUX1/Dock) → AUX2 → PORTABLE IN → USB → CD

※“AUX1”を表示中に iPod 用コントロールドックを接続すると、“AUX1/Dock”表示になります。
※“PORTABLE IN”は接続時のみ表示します。

音質を調節する

1 **SDB/TONE ボタンで調節する項目を選ぶ。**

SDB → BASS → TREBLE → S.DIRECT → SDB

【表示について】
SDB がオンのとき……………… “SDB”表示点灯
BASS または TREBLE を 0dB 以外に設定しているとき ………………… “TONE”表示点灯

2 **調節したい項目を表示させてから ⏮, ⏭ または [◁ ▷] ボタンでオン / オフまたは音質を調節する。**

※約 5 秒間操作をしないと調節した状態を保持して、通常の表示に戻ります。

【選択できるモード】

SDB ： スーパーダイナミックバスの ON/OFF を切り替えます。
BASS ： 低音を調節します。
【可変できる範囲】 –10dB ~ +10dB
TREBLE ： 高音を調節します。
【可変できる範囲】 –10dB ~ +10dB
S. DIRECT ： SDB、BASS および TREBLE をオフにします。

お買い上げ時の設定：
●SDB…………………… オフ
●BASS ………………… 0dB
●TREBLE……………… 0dB
●S. DIRECT…………… オフ

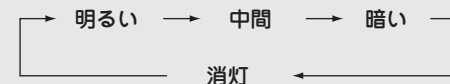
一時的に音を消す（ミューティング）

[MUTE] ボタンを押す。

“MUTE ON”を表示します。

解除するときは、もう一度 **[MUTE]** ボタンを押してください。
（**<VOLUME>** つまみを回すか **[VOLUME ▲▼]** ボタンを押しても解除できます。）

ディスプレイの明るさを切り替える

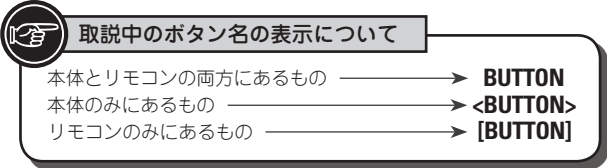
[DIMMER] ボタンを押す。

※押すたびにディスプレイの明るさが切り替わります。

ヘッドホンで聴く

PHONES 端子にヘッドホン（別売り）プラグを差し込む。

※自動的にスピーカーから音が出なくなります。

ご注意 ヘッドホンを使用するときは、音量を上げ過ぎないように注意してください。

CD の再生

CD を再生する

<▶/II> または [CD ▶/II] ボタンを押す。
“▶”表示が点灯し、再生をはじめます。

- ファンクションが“CD”以外のときに **[CD ▶/II]** ボタンを押すと“CD”に切り替わり再生します（☞28 ページ「オートファンクション機能」）。
- **SOURCE** ボタンでファンクションを“CD”に切り替えることもできます。

❑ 再生を停止するには
<BAND /■> または **[■]** ボタンを押す。

❑ 再生を一時停止するには
<▶/II> または **[CD ▶/II]** ボタンを押す。
“**II**”表示が点灯します。

※再生を再開するときは、**<▶/II>** または **[CD ▶/II]** ボタンを押してください。

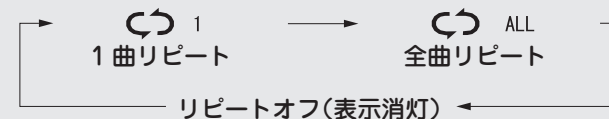
❑ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには
再生中に **[◀◀, ▶▶]** ボタンを長押しする。

❑ 頭出し（スキップ）をするには
再生中に **I◀◀, ▶▶I** ボタンを押す。

※押した回数だけ曲を飛び越します。
※戻し方向に 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

❑ 好きな曲を聞くには（リモコンのみ）
[NUMBER]（**0** ～ **9**, **+10**）ボタンで番号を選ぶ。
【例】4 曲目　：**[4]**
【例】12 曲目　：**[+10]**, **[2]**
【例】20 曲目　：**[+10]**, **[+10]**, **[0]**

くり返し再生する < リピート再生 >

[REPEAT] ボタンを押す。
それぞれのくり返し再生をはじめます。

【選択できる項目】

1（1 曲リピート）	：1 曲のみをくり返して再生します。
ALL（全曲リピート）	：全曲をくり返して再生します。
リピートオフ（表示消灯）	：通常の再生に戻ります。

順不同に再生する < ランダム再生 >

1 **停止中に [RANDOM] ボタンを押す。**
“RANDOM”を表示します。

2 **<▶/II> または [CD ▶/II] ボタンを押す。**
順不同に再生をはじめます。

ご注意
再生中にランダム再生の設定および解除はできません。

❑ ランダム再生を解除するには
停止中に **[RANDOM]** ボタンを押す。
“RANDOM”が消灯します。

ランダム再生中に **[REPEAT]** ボタンを押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。

好きな順に再生する <プログラム再生>

最大 25 曲までプログラムできます。

1 **停止中に [PROG/DIRECT] ボタンを押す。**
"PGM"を表示します。

2 **[NUMBER] ボタン(0 ～ 9, +10)を押して、曲番を選ぶ。**

【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムしたい場合:
[PROG/DIRECT], [3], [+10], [2], [7] と押す。

3 **<▶/❚❚> または [CD ▶/❚❚] ボタンを押す。**
プログラムされた順に再生をはじめます。

❏ プログラムした曲順を確認するには

停止中に ▶▶❙ または ❙◀◀ ボタンを押す。
押すたびにプログラムされた順に曲番を表示します。

❏ プログラムした最後の曲を取り消すには

停止中に **[CLEAR/DEL]** ボタンを押す。
押すたびに最後にプログラムされた曲を取り消します。

❏ プログラムした 1 曲のみを取り消すには

停止中に ▶▶❙ または ❙◀◀ ボタンを押して、取り消したい曲を選び、**[CLEAR/DEL]** ボタンを押す。

❏ プログラムした曲をすべて取り消すには

停止中に **[PROG/DIRECT]** ボタンを押す。
"PGM"が消灯します。

[REPEAT] ボタンを押すと、プログラムした曲順に再生を繰り返します。

ディスプレイ表示を切り替える

[TIME/DISPLAY] ボタンを押す。

再生曲の経過時間 → 再生曲の残り時間 → 残り全曲の残り時間 → (再生曲の経過時間)

※ボタンを押すたびに切り替わります。

MP3 や WMA の再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA(Windows Media® Audio)形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R/CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

"Windows Media"および"Windows"は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

再生できる MP3 や WMA のフォーマットについて

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生することができます。

ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1
※他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計:512 個
1 つのフォルダの中の最大ファイル数:255 個

ファイル形式

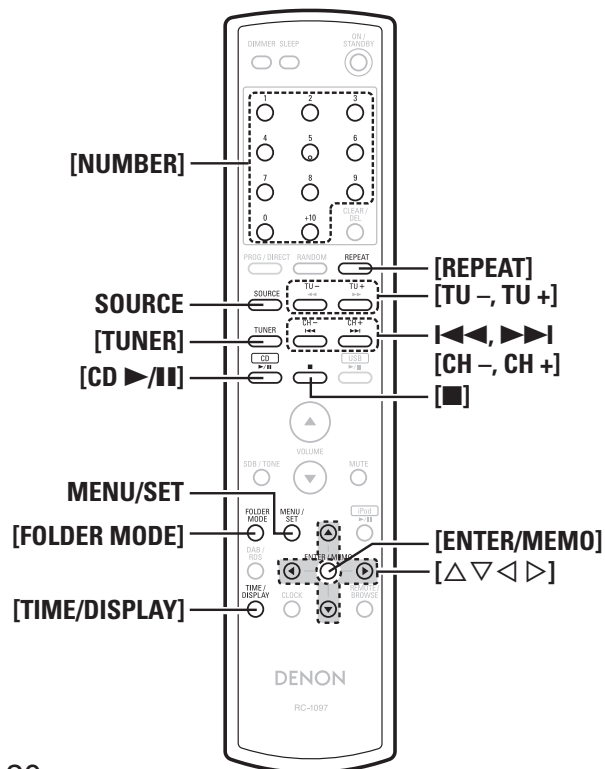
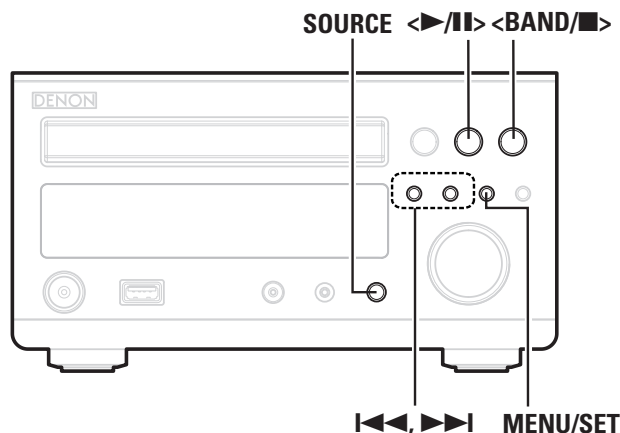
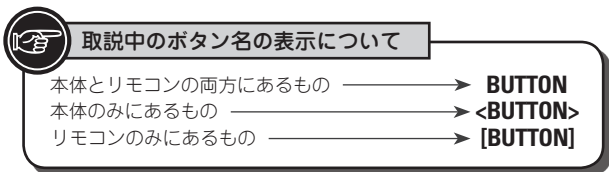
MPEG-1 Audio Layer-3
WMA(Windows Media Audio)

タグ情報

ID3 タグ(Ver.1x)
META タグ(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

再生可能な MP3/WMA ファイル

ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.MP3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 160 kbps	.WMA

- ファイルには必ず拡張子".MP3"".WMA"を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを書き込んだ CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる（☞6 ページ）。

2 **[FOLDER MODE] ボタンを押して、"フォルダモード" または "ディスクモード" を選ぶ。**

【表示について】
フォルダモードのとき ………… "FLD" 表示点灯
ディスクモードのとき ………… "FLD" 表示消灯

フォルダモード：
選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
ディスクモード：
選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 **[△▽] ボタンを押して、再生したいフォルダを選ぶ。**

4 **I◀◀, ▶▶I または [◁ ▷] ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。**

5 **<▶/II> または [CD ▶/II] ボタンを押す。**

❑ 再生中にフォルダやファイルを変えるには

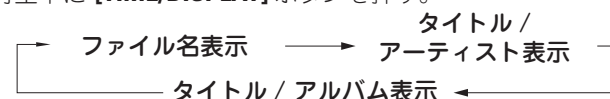
● **フォルダ**
[△▽] ボタンでフォルダを選ぶ。

● **ファイル**
I◀◀, ▶▶I ボタンでファイルを選ぶか、**[NUMBER]** ボタン（**0** ～ **9**, **+10**）でファイル番号を選ぶ。

※ファイル番号は、ディスク読み込み時に自動で設定されます。

著作権保護されたファイルは再生できません。
（この場合 "Not Support" を表示します。）
また書き込みソフトや状態により、再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

❑ 表示を切り替えるには

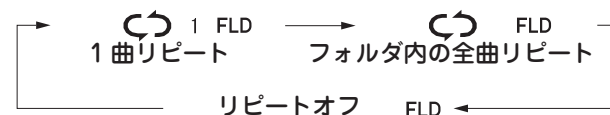
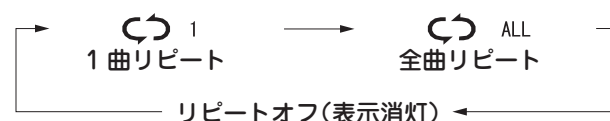
再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。

※表示できる文字は次の通りです。

A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9 ^ ' ( ) * + , - . / = （空白）

❑ リピート再生するには

[REPEAT] ボタンを押す。
それぞれのくり返し再生をはじめます。

※ "フォルダモード" および "ディスクモード" では選択できるリピートモードが異なります。

"フォルダモード" のとき：

"ディスクモード" のとき：

【選択できる項目】

"フォルダモード" のとき

1FLD	：選んだファイルのみをくり返し再生します。
FLD	：選んだフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
FLD	：フォルダモード再生に戻ります。

"ディスクモード" のとき
「くり返し再生する ＜リピート再生＞」（☞18 ページ）

❑ ランダム再生するには

「順不同に再生する ＜ランダム再生＞」（☞18 ページ）

MP3/WMA のディスクではプログラム再生はできません。

チューナーを聴く

放送局を受信する

あらかじめアンテナを接続してください（☞14 ページ）。

1 **[TUNER] または <BAND/■> ボタンを押して、受信バンドを選ぶ。**

→ FM AUTO → FM MONO → AM →

【表示について】
FM AUTO のとき ……………… “AUTO”表示点灯
FM MONO のとき ……………… “MONO”表示点灯
AM のとき ……………………… 受信モードを表示しません。

2 **<I◀◀/–, +/▶▶I> または [TU –, TU +] ボタンを押して、受信周波数を選ぶ。**
受信すると、“TUNED”表示が点灯します。

- ファンクションが“TUNER”以外のときに **[TUNER]** ボタンを押すと“TUNER”に切り替わります（☞28 ページ「オートファンクション機能」）。
- **SOURCE** ボタンでファンクションを“TUNER”に切り替えることもできます。

❑ オートチューニングするには

<I◀◀/–, +/▶▶I> または **[TU –, TU +]** ボタンを長押しすると、自動的に放送局をサーチして受信します。

※ただし、電波が弱い放送局は受信できません。

❑ オートチューニングを停止するには

<I◀◀/–, +/▶▶I> または **[TU –, TU +]** ボタンを押す。

❑ マニュアルチューニングするには

<I◀◀/–, +/▶▶I> または **[TU –, TU +]** ボタンを押すたびに、受信周波数が変化します。

AM 放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ピー”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

FM放送の受信状態の表示について

ステレオ放送を受信すると“ST”表示が点灯します。

電波が弱く、安定したステレオ受信ができないときは、“FM MONO”を選び、モノラル受信にしてください。

チューニングモードとプリセットモードの切り替えについて

チューニングの操作とプリセットチャンネルの操作には **<I◀◀/–, +/▶▶I>** ボタンを使います。操作の前に操作するモードに切り替えてください。

❑ プリセットモードに切り替えるには

<BAND/■> ボタンを押しながら **<+/▶▶I>** ボタンを押す。
“PRESET”が約 5 秒間点滅表示します。

❑ チューニングモードに切り替えるには

<BAND/■> ボタンを押しながら **<I◀◀/–>** ボタンを押す。
“TUNING”が約 5 秒間点滅表示します。

FM 放送局を自動的にプリセットする（オートプリセット）

最大 40 局プリセットできます。
AM 放送局はオートプリセットできません。

1 **[TUNER] ボタン押して、“FM AUTO”または“FM MONO”を選ぶ。**

2 **MENU/SET ボタンを長押しする。**
“AUTO PRESET”を表示します。

3 **再度 MENU/SET ボタンを押す。**
“Search”が点滅表示し、オートプリセットを開始します。

アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信し、「受信した放送局に名前を付けてプリセットする」の操作をおこなってください。

❑ オートプリセットを中止するには

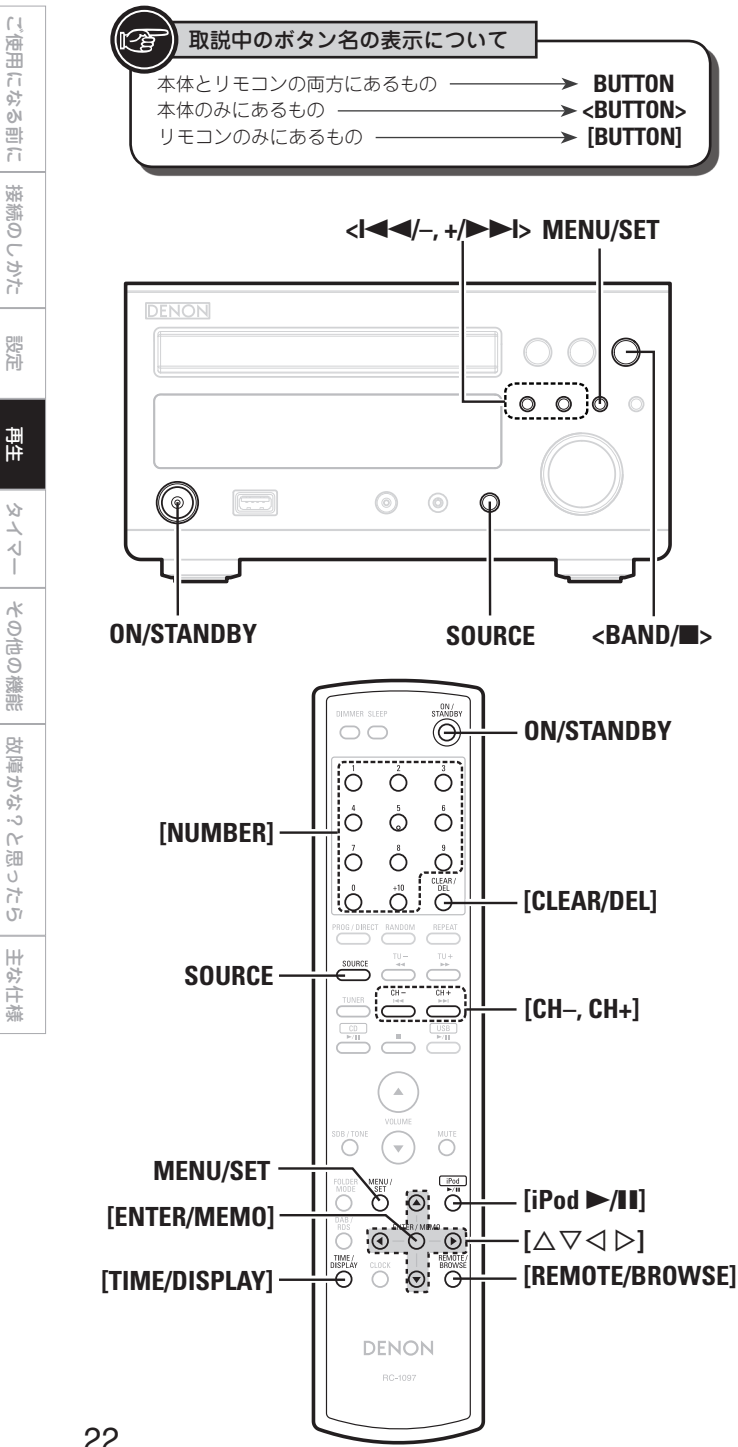
<■ BAND> または **[■]** ボタンを押す。
“Search”の点滅表示が消灯します。

FM/AM 放送局をマニュアルでプリセットする

FM/AM 合わせて最大 40 局プリセットできます。

1 **放送局を受信する。**

2 **[ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
未登録プリセットの最小番号表示が点滅します。

3 **<I◀◀/–, +/▶▶I>, [CH –, CH +] または [◁ ▷] ボタンで番号を選び、[ENTER/MEMO] ボタンを押す。**
受信バンド、プリセット番号および受信周波数を表示します。

プリセットした放送局を聴く

<I◀◀/–, +/▶▶I>、[CH –, CH +] または [NUMBER] ボタン（0 ～ 9, +10）でプリセット番号を選ぶ。

※**<I◀◀/–, +/▶▶I>** ボタンはプリセットモードに切り替えてから操作してください（☞21 ページ）。

受信した放送局に名前を付ける

最大 8 文字まで入力できます。

1 [NUMBER] ボタン（0 ～ 9, +10）で、名前を付けたいプリセット番号を選ぶ。

2 MENU/SET ボタンを 3 回押す。
"STATION NAME" が点滅表示します。

※5 秒以内に動作します。

3 [◁ ▷] ボタンを押す。
名前入力モードになります。

4 [△▽] ボタンで文字を選び、[▷] ボタンで確定する。

※入力できる文字

A ～ Z、0 ～ 9 ^ '（）* + , - . / =（空白）

※**[◁ ▷]** ボタンを押すと、カーソルを移動できます。
入力文字を修正するときに使用してください。

5 [ENTER/MEMO] ボタンを押す。
名前入力モードを終了します。

❑ 放送局名を変更するには

① 変更したいプリセット名を呼び出し、**MENU/SET** ボタンを 3 回押す。
② 「受信した放送局に名前を付ける」の操作 3～5をおこなう。
※**[CLEAR/DEL]** ボタンを押すと、文字を削除できます。

iPod® の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

iPod は米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標または登録商標です。

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

準備

1 DENON 製 iPod 用コントロールドックに、iPod をセットする。
（☞iPod 用コントロールドックの取扱説明書）

2 SOURCE ボタンを押して、"AUX1/Dock" を選ぶ。

3 [REMOTE/BROWSE] ボタンを押して、表示モードを選ぶ。
押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	×	○*
操作できるボタン	本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

＊：ASD-1R と iPod の組み合わせによっては、映像が出力されない場合があります。

オーディオを聴く

1 **[△▽] ボタンでメニューを選び、[ENTER/MEMO] または [▷] ボタンで再生したい音楽ファイルを選ぶ。**

2 **[iPod ▶/❚❚] ボタンを押す。**
再生をはじめます。

●ファンクションが“AUX1/Dock”以外のときに **[iPod ▶/❚❚]** ボタンを押すと、“AUX1/Dock”に切り替わり再生します（☞28 ページ「オートファンクション機能」）。
●**SOURCE** ボタンでファンクションを“AUX1/Dock”に切り替えることもできます。

リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
iPod ▶/❚❚	**▶❚❚**	再生 ※ リモートモード時は再生 / 一時停止
⏮, ⏭	**⏮, ⏭**	オートサーチ（頭出し）
	◀◀, ▶▶	マニュアルサーチ（早戻し、早送り）
◁, ▷, △, ▽	**Click Wheel**	カーソル上下左右
ENTER/MEMO	**Select**	設定の確定 / 再生
REMOTE/ BROWSE	–	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	–	リピート再生
RANDOM	–	ランダム再生
MENU/SET	**MENU**	メニューの呼び出し / メニューのリターン

ご注意

●万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
●iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

本機のディスプレイ表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。
ボタンを押すたびに切り替わります。

曲名表示 → アーティスト名表示 → アルバム名表示 →（曲名表示）

iPod を取り外す

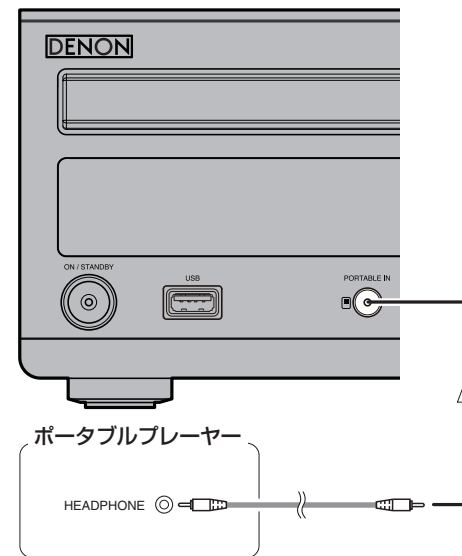
1 **ON/STANDBY ボタンを押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。**

2 **iPod 用コントロールドックから iPod を取り外す。**

ポータブルプレーヤーの再生

本機のポータブルジャックにポータブルプレーヤーを接続することで、ポータブルプレーヤーの音楽を再生できます。

ポータブルプレーヤーを接続する

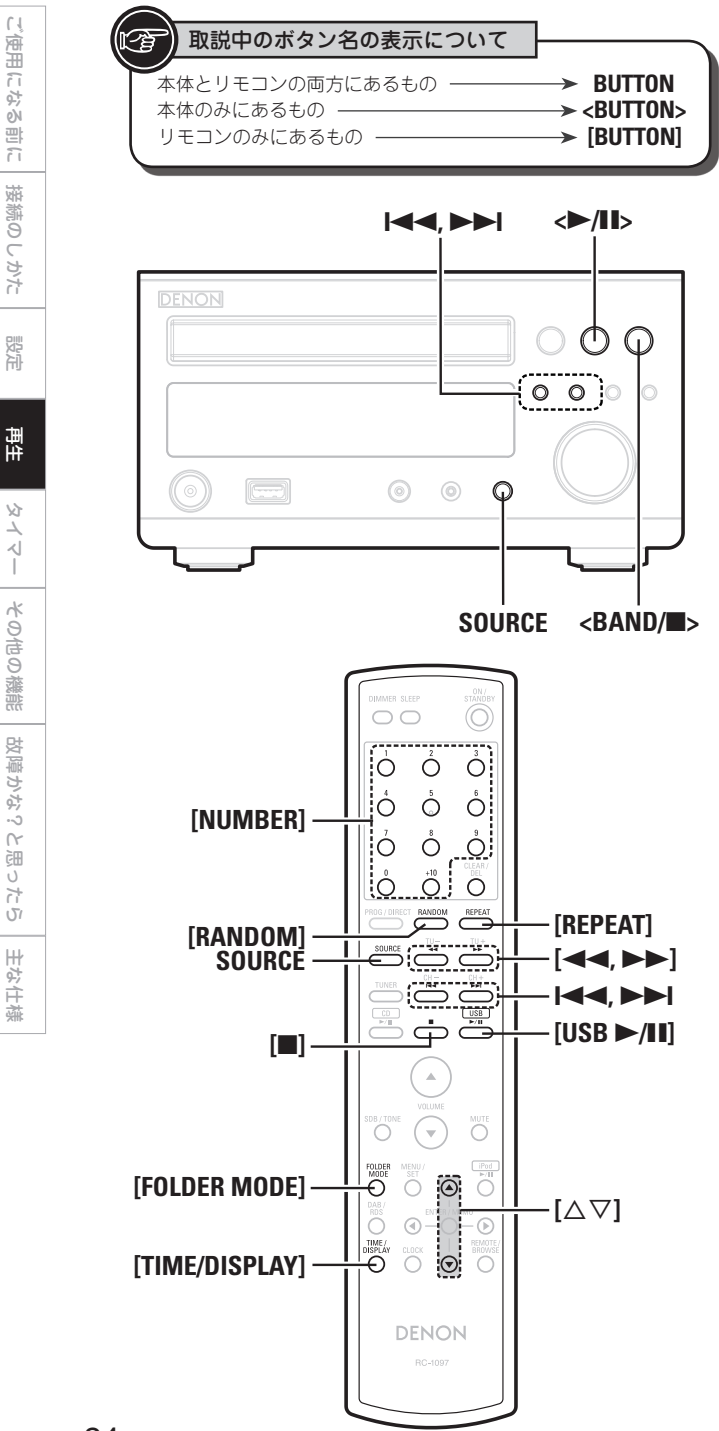
本機とポータブルプレーヤーを、別売りのステレオミニプラグケーブルで接続する。

ポータブルプレーヤーを再生する

1 **SOURCE ボタンを押して、“PORTABLE IN”を選ぶ。**

2 **ポータブルプレーヤーを再生する。**
ポータブルプレーヤーの音楽を出力します。

※ポータブルプレーヤーの取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意

ポータブルプレーヤーのヘッドホン端子を使用するときは、ポータブルプレーヤー機器側の音量を適度に上げてください。

USB を聴く

再生できる USB メモリーのフォーマットについて

次のフォーマットで作成された、USB メモリーに保存されているファイルを再生することができます。

USB対応ファイルシステム

“FAT16”または“FAT32”

※USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数：255 個
最大ファイル数：255 個

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

タグ情報

ID3 タグ（Ver.1x）
META タグ（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 192 kbps	.wma

本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイル＊のみを再生することができます。

＊：インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

基本操作

次の操作をすると自動で再生をはじめます。
- USB メモリーを接続したとき
- ファンクションを別のファンクションから“USB”に切り替えたとき（USB メモリーが接続されていること）

USB メモリーを USB 端子に接続する。
自動で再生をはじめます。

※USB メモリーが接続されているときに、次の操作をおこなうと自動的に再生をはじめます。
- **SOURCE** ボタンでファンクションを“USB”に切り替える。
- **[USB ▶/II]** ボタンを押す。

- ファンクションが“USB”以外のときに **[USB ▶/II]** ボタンを押すと、“USB”に切り替わり再生します（☞28 ページ「オートファンクション機能」）。
- **SOURCE** ボタンでファンクションを“USB”に切り替えることもできます。

❏ フォルダモードやメモリーモードに変えるには

[FOLDER MODE] ボタンを押す。

【表示について】
フォルダモードのとき…………………“FLD”表示点灯
メモリーモードのとき…………………“FLD”表示消灯

フォルダモード：
選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
メモリーモード：
選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

❏ 再生中にフォルダやファイルを変えるには

- **フォルダ**
  [△▽] ボタンでフォルダを選ぶ。
- **ファイル**
  ⏮, ⏭ ボタンでファイルを選ぶか、**[NUMBER]** ボタン（**0**～**9**, **+10**）でファイル番号を選ぶ。

❏ 再生するには

<▶/II> または **[USB ▶/II]** ボタンを押す。

❏ 再生を停止するには

<BAND/■> または **[■]** ボタンを押す。

❏ 再生を一時停止するには

<▶/II> または **[USB ▶/II]** ボタンを押す。
“**II**” 表示が点灯します。

※再生を再開するときは、**<▶/II>** または **[USB ▶/II]** ボタンを押してください。

❏ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に **[◀◀, ▶▶]** ボタンを長押しする。

❏ くり返し再生するには（メモリーモードのみ）

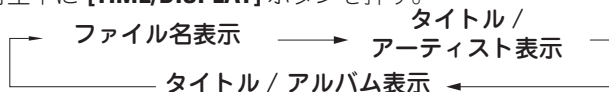
[REPEAT] ボタンを押す。

❏ 順不同に再生するには（メモリーモードのみ）

停止中に **[RANDOM]** ボタンを押す。

❏ 表示を切り替えるには

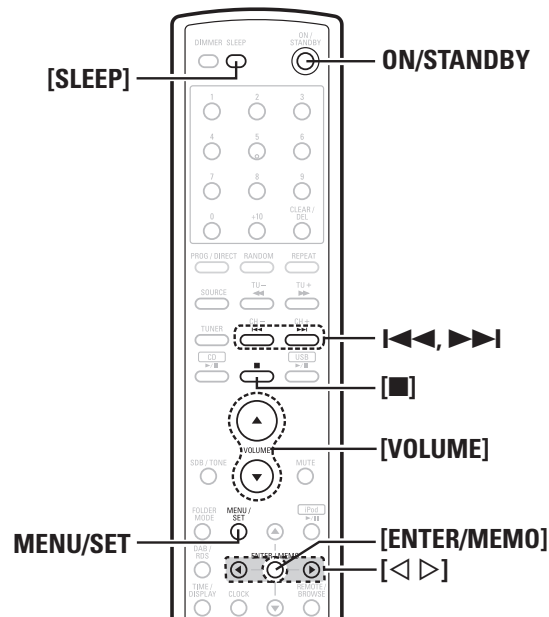
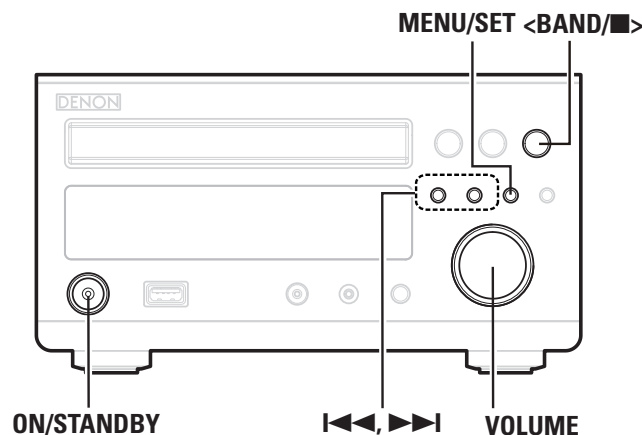
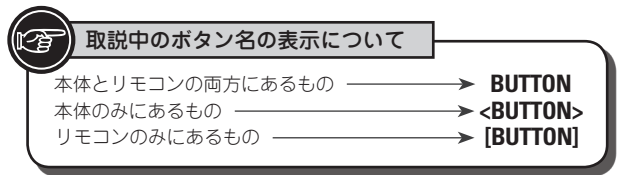
再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。

ファイル名表示 → **タイトル / アーティスト表示** → **タイトル / アルバム表示** →（ファイル名表示に戻る）

※表示できる文字は次の通りです。

A～Z、a～z、0～9 ^ ' ( ) * + , - . / =（空白）

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。

タイマー設定

タイマー再生

エブリディタイマー、ワンスタイマーおよびスリープタイマーのタイマー設定ができます。

タイマーの優先順位

タイマーの設定時刻の範囲が重なったときの優先順位は次の通りです。
1 スリープタイマー
2 ワンスタイマー
3 エブリディタイマー

タイマーを設定する

- **エブリディタイマー再生**
  毎日設定した時刻に、再生スタート（電源オン）と終了（電源スタンバイ）をおこないます。
- **ワンスタイマー再生**
  1 回のみ、設定した時刻に再生スタート（電源オン）と終了（電源スタンバイ）をおこないます。

1 MENU/SET ボタンを押す。
“TIMER”を表示します。

※5 秒以内に操作してください。

2 9, : または [◁ ▷] ボタンでタイマー再生モードを選ぶ。

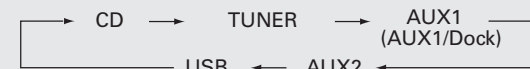
ONCE ↔ EVERYDAY

※ “1”：ワンスタイマー
“E”：エブリデイタイマー

< -EVERYDAY- >

3 MENU/SET または [ENTER/MEMO] ボタンを押す。
タイマー再生モードを確定します。

4 9, : または [◁ ▷] ボタンで、再生するファンクションを選ぶ。

E< -CD- >

5 MENU/SET または [ENTER/MEMO] ボタンを押す。
再生するファンクションを確定します。

※チューナー以外のファンクションのときは、操作 7 の設定表示になります。

【ファンクションで“TUNER”を選んだときのみ】

6-① 9, : または [◁ ▷] ボタンで、プリセット番号を選ぶ。

E<P02:REG_NAME>

-② MENU/SET または [ENTER/MEMO] ボタンを押す。
選択したプリセット番号の放送局を確定します。

7 9, : または [◁ ▷] ボタンで、タイマー再生開始時刻の“時”を設定する。

E ON -0:00

8 MENU/SET または [ENTER /MEMO] を押す。
タイマー再生開始時刻の“時”を確定します。

9 9, : または [◁ ▷] ボタンで、タイマー再生開始時刻の“分”を設定する。

E ON 10:00

10 MENU/SET または [ENTER/MEMO] ボタンを押す。
タイマー再生開始時刻の“分”を確定します。

11 9, : または [◁ ▷] ボタンで、タイマー再生終了時刻の“時”を設定する。

12 MENU/SET または [ENTER/MEMO] ボタンを押す。
タイマー再生終了時刻の“時”を確定します。

13 |◀◀, ▶▶| または [◁ ▷] ボタンで、タイマー再生終了時刻の“分”を設定する。

E　OFF　10:00

14 MENU/SET または [ENTER/MEMO] ボタンを押す。

タイマー再生終了時刻の“分”を確定します。

15 |◀◀, ▶▶| または [◁ ▷] ボタンで、タイマー再生のオンを設定する。

1_OFF/E_ON

表示	ワンスタイマー	エブリディタイマー
1_off/E_off	オフ	オフ
1_on/E_on	オン	オン
1_off/E_on	オフ	オン
1_on/E_off	オン	オフ

※オンにすると“◷”表示が点灯します。

16 MENU/SET または [ENTER/MEMO] を押す。

タイマー設定を確定します。

17 VOLUME でタイマー開始時の音量を調節する。

18 電源をスタンバイにする。

タイマー再生スタンバイモードになります。

❑ タイマー動作をおこなわないときは

MENU/SET ボタンを 2 回押す。

「タイマーを設定する」の操作 15 で **|◀◀, ▶▶|** または **[◁ ▷]** ボタンを押し、タイマーオン / オフ表示をオフにして“◷”表示を消灯させる。

❑ タイマー設定の内容を確認するには

① **MENU/SET** ボタンを押す。
“TIMER”を表示します。

② **|◀◀, ▶▶|** または **[◁ ▷]** ボタンを押す。
“EVERYDAY”または“ONCE”を表示します。

③ **MENU/SET** ボタンを押す。
ボタンを押すたびに表示切り替わります。

❑ タイマー設定の内容を変更するには

「タイマーを設定する」（☞26 ページ）の操作をやり直してください。

❑ タイマー設定中に設定を変更するには

<■/BAND> または **[■]** ボタンを押す。

「タイマーを設定する」（☞26 ページ）の操作 2 に戻ります。
再度操作をおこなってください。

❑ タイマー設定の内容を消去するには

① **MENU/SET** ボタンを押す。
“TIMER”を表示します。

② **|◀◀, ▶▶|** または **[◁ ▷]** ボタンを押す。
“EVERYDAY”または“ONCE”を表示します。

③ “EVERYDAY”または“ONCE”を表示中に、**<■/BAND>** または **[■]** ボタンを約 2 秒以上押す。

❑ 停電になったとき

時刻設定およびタイマー設定が解除されます。もう一度現在時刻を合わせ、タイマー予約をおこなってください。

❑ DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-3N または ASD-3W）でタイマー設定をするとき

再生したい曲を一時停止状態にして、DENON 製 iPod 用コントロールドッグの電源を常にオンにしておいてください。

iPod ファンクションのときに、タイマーを設定することはできません。タイマーを設定する場合は、iPod 以外のファンクションに切り替えてからおこなってください。

スリープタイマー再生

設定した時間後に、自動的に電源をスタンバイ状態にできます。10 分間隔で最大 90 分まで設定できます。

1 お好みのファンクションを選び、再生する。

2 [SLEEP] ボタンを押して、設定時間を選ぶ。

→ 90 → 80 → 70 → 60 → 50 → 40 → 30
OFF（“SLEEP”表示消灯） ← 10 ← 20 ←

“SLEEP”表示が点滅します。

3 “SLEEP”表示の点滅中に、[SLEEP] ボタン押す。

設定時間を表示します。

※約 5 秒後スリープタイマー設定前の状態に戻り、“SLEEP”表示が点灯します。

❑ スリープタイマー再生を解除するには

「スリープタイマー再生」の操作 2 で“OFF”を表示するまで **[SLEEP]** ボタンを押すか、**ON/STANDBY** ボタンを押す。

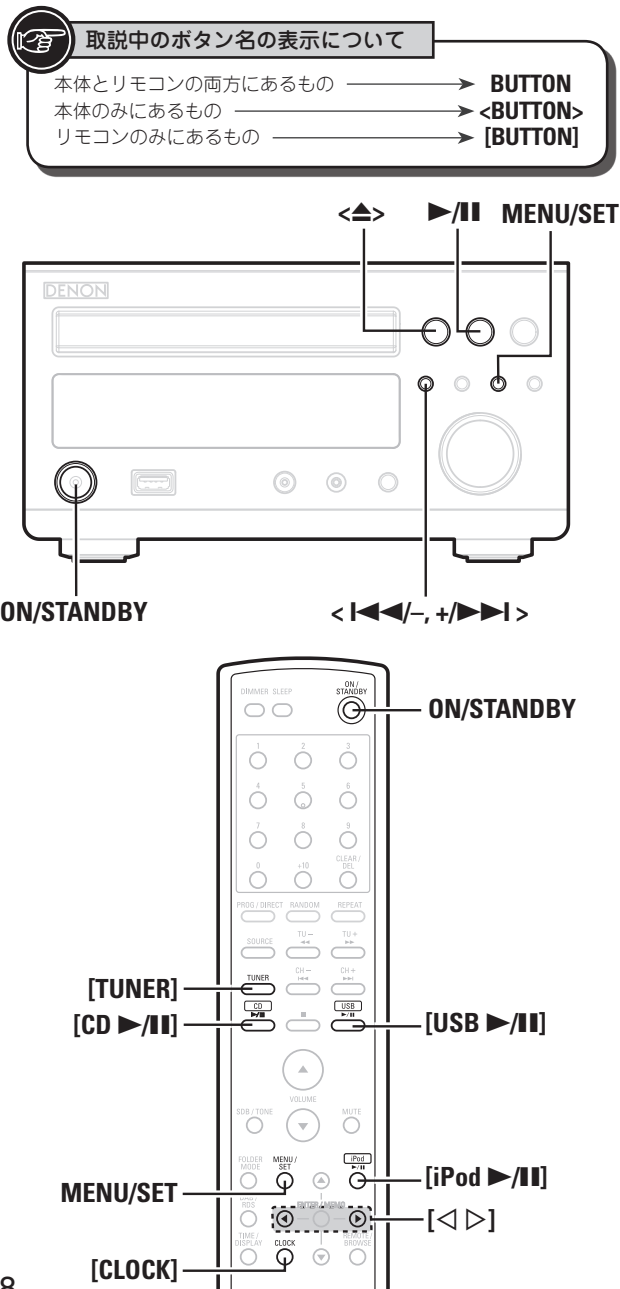
❑ スリープタイマー設定中に設定を変更するには

[SLEEP] ボタンを押す。

❑ スリープタイマー開始までの残り時間を確認するには

[SLEEP] ボタンを押す。

「スリープタイマー再生」の操作 2 に戻ります。

その他の機能

便利な機能

オートパワーオン

電源がスタンバイのとき、**ON/STANDBY** ボタン以外の次のボタンで電源がオンになり、次の動作をおこないます。

- **<⏏>** ボタン …………ディスクトレイが開きます。
- 各ファンクションの **▶/❙❙** ボタン ……………………………各ソースの再生をはじめます。
- **[TUNER]** ボタン……チューナーの再生をはじめます。

ご注意

iPod はオートパワーオンは再生できません。

オートファンクション機能

次のボタンを押すとファンクションをそれぞれのファンクションに切り替えてから、それぞれのソースの再生をはじめます。

- **[CD ▶/❙❙]** ボタン……ファンクションが“CD”に切り替わり、CD を再生します。
- **[USB ▶/❙❙]** ボタン …ファンクションが“USB”に切り替わり、USB を再生します。
- **[iPod ▶/❙❙]** ボタン …ファンクションが“AUX1/Dock”に切り替わり、iPod を再生します。
- **[TUNER]** ボタン ………ファンクションが“TUNER”に切り替わり、最後に設定したバンドを受信します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
マイコンを初期化すると、各種ボタンの設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。

1 **電源コードを抜く。**

2 **<❙◀◀/–> と <MENU/SET> ボタンを同時に押しながら、コンセントに電源プラグを入れる。**

3 **[CLOCK] ボタンを押す。**
“00：00”を点滅表示します。

操作 3 で“00：00”が点滅しない場合は、もう一度操作 1 からやり直してください。

最適化フィルターを使用する

別売りスピーカー（SC-M37 スピーカー）または DE-500 システムの付属スピーカー（SC-M500 スピーカー）特性に合わせた最適化フィルター機能を動作させます。

1 **MENU/SET ボタンで“SPK OPTIMISE”を選ぶ。**

2 **<❙◀◀/–, +/▶▶❙> または [◁ ▷] ボタンで、“ON”または“OFF”を選ぶ。**

3 **MENU/SET ボタンを押して、確定する。**

【選択できる項目】

ON：スピーカー SC-M37（別売り）および D-E500 システムスピーカー SC-M500（付属）に最適な特性になります。
OFF：フラットな特性になります。

iPod ファンクションのときに、本機能の ON/OFF 切り替えはできません。

故障かな？と思ったら

❑ **各接続は正しいですか**
❑ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**
❑ **スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
本機が正常に動作しない。	●外部からのノイズや妨害によって本機が誤動作している。	●マイコンを初期化してください。	28
電源を入れてもディスプレイが点灯せず、音が出ない。	●電源コードの差し込みが不完全である。	●本機のリアパネルおよびコンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	15
ディスプレイは点灯するが、音が出ない。	●入力ソースと合っていない。 ●主音量が小さすぎる。 ●消音（ミューティング）モードになっている。	●適切な入力ソースに切り替えてください。 ●主音量を適切な大きさに調節してください。 ●消音（ミューティング）モードを解除してください。	17 17 17
表示が暗い。	●ディマー機能が働いている。	●**DIMMER** ボタンでディマー機能を解除してください。	17
突然電源が切れ、電源表示が赤色で点滅している。	●機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいている。 ●スピーカーケーブルの芯線どうしの接触や、芯線が端子から外れて本機のリアパネルに接触したために、保護回路がはたらいている。 ●本機が故障している。	●一度電源を切って、本体の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。 ●本機を風通しの良い場所に設置し直してください。 ●電源コードを抜き、芯線をしっかりとより直すか、端末処理をするなどした後で、接続し直してください。 ●電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	13 13 13 —

【リモコン】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	●乾電池が消耗している。 ●本体から離れすぎているか、角度が良くない。 ●本機とリモコンの間に障害物がある。 ●乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。 ●本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）が当たっている。	●新しい乾電池と交換してください。 ●リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲内で操作してください。 ●障害物を取り除いてください。 ●正しい極性でセットしてください。 ●受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	7 7 7 7 7

【CD】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
CD を入れてもディスプレイが“00Tr 00:00”表示になる。	●CD が正しく入っていない。	●CD を入れ直してください。	6
CD ►/❚❚ ボタンを押しても再生しない。	●CD が汚れたり、傷が付いたりしている。	●CD の汚れを拭き取るか、他の CD と入れ替えてください。	7
ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	●CD が汚れたり、傷が付いたりしている。	●CD の汚れを拭き取るか、他の CD と入れ替えてください。	7
CD-R/CD-RW が再生できない。	●ファイナライズされていない。 ●記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	●ファイナライズをしてから再生してください。 ●正しく記録されたディスクをご使用ください。	6 —
MP3、WMA のファイルが再生できない。	●ファイルフォーマット、または拡張子、またはディスク作成時の設定が本機に対応していない。	●本機に対応したファイルフォーマット、拡張子、ディスク作成時の設定でディスクを作成してください。	19

【チューナー】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
FM 放送に“ザー”という雑音が入る。	●アンテナケーブルが正しく接続されていない。	●アンテナケーブルを正しく接続してください。	14
AM 放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	●テレビなどから雑音が入っている。または、放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。 ●AM 用ループアンテナの位置や向きを変えてください。	— 14

【iPod】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
iPod が再生できない。	●入力ソースと合っていない。	●入力ソースを切り替えてください。	22
	●ケーブルが正しく接続されていない。	●接続をやり直してください。	14
	●iPod 用コントロールドックの AC アダプターがコンセントに挿されていない。	●iPod 用コントロールドックは、AC アダプターを挿していないと本機と通信することができません。	—

【USB】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイに“USB”が表示されない。	●接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。	●接続を確認してください。	15
	●マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。	●本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB デバイスに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。	—
	●本機が認識できないデバイスを接続している。	●故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。	—
	●USB ハブ経由で接続している。	●USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB デバイスも再生できません。	—
USB デバイス内のファイルが再生できない。	●USB デバイスのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。	●フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB デバイスの取扱説明書をご覧ください。	—
	●複数のパーティションに分かれている。	●複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。	—
	●ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。	●対応しているフォーマットで記録してください。	24
	●著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	●本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。	24

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

❏ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❏ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❏ 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 修理を依頼される前に、今一度この取扱説明書の内容をご確認ください。

❏ 修理を依頼されるとき

- 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名…… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号… 保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❏ オーディオ部

パワーアンプ部

定格出力：	30W + 30W（負荷 6 Ω）JEITA	

❏ チューナー部

受信周波数範囲：	FM：76MHz ～ 108MHz	AM：522kHz ～ 1629kHz
受信感度：	FM：1.5µV/75 Ω	AM：20µV
FM ステレオ分離度：	35dB（1kHz）	

❏ CD 部

再生周波数特性：	2Hz ～ 20kHz
ワウ・フラッター：	測定限界（± 0.001％ W.peak）以下
サンプリング周波数：	44.1kHz

❏ 時計 / タイマー部

時計方式：	クリスタル発振子（月差 1 ～ 2 分）
タイマー：	エブリータイマー / ワンスタイマー：各 1 系統 スリープタイマー：最大 90 分

❏ 総合

電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	56W（電気用品安全法による） （スタンバイ時：約 0.3W）
最大外形寸法：	210（幅）× 115（高さ）× 308.5（奥行き）mm
質量：	4.3kg

❏ リモコンユニット（RC-1097）

リモコン方式：	赤外線パルス式
電源：	DC3V 単 4 形乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	49（幅）× 220（高さ）× 24（奥行き）mm
質量：	110g（乾電池を含む）

※ JEITA：（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30 〜 12：00、12：45 〜 17：30
（当社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購入店名：　　　　　　　電話（　　-　　-　　）

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

Printed in China　5411 10031 105D